

食品安全委員会の国際的な取組

食品安全委員会は、2003(平成15)年に内閣府に設置されて以来、国際機関や諸外国の機関との連携を強化し、最新の科学的知見やリスク評価に関する情報の収集・共有を進めるなど、国際協調の推進を図っています。

海外にも、食品安全委員会と同じようにリスク評価を行う機関があります。食品安全委員会は、こうしたリスク評価機関との間で、情報交換や定期的な会合の開催などについて取り決める協力覚書(Memorandum of

Cooperation)の締結を進めています。

2009(平成21)年に欧州食品安全機関との間で締結したのを最初として(2015年に改訂して再締結)、2010年に豪州・ニュージーランド食品基

準機関、2015年にポルトガル経済食品安全庁、フランス食品環境労働衛生安全庁、2016年にドイツ連邦リスク評価研究所との間で、締結しました。

各機関の概要を下記に紹介します。

● 食品安全委員会が協力覚書を締結した海外機関

EFSA

欧州食品安全機関

European Food Safety Authority



2002年に、欧州委員会とは法的に独立した機関として設立されました。食品の安全性に関して、欧州委員会等に、食品のリスクに関する科学的な助言とコミュニケーション手段を提供しています。リスク評価は、同機関内の科学パネルが担っています。作物の病虫害、飼料、動物福祉を含めた、あらゆる食品にかかわるリスクを評価の対象としています。

FSANZ

オーストラリア・ニュージーランド
食品基準機関

Food Standards Australia
New Zealand



2002年に、食品の安全の維持を図ることにより、オーストラリア及びニュージーランドの国民の健康と安全を保護することを目的として2国間で設立されました。食品添加物や自然毒、遺伝子組換え食品等、新開発食品についてのリスク評価を実施する一方、オーストラリア政府やニュージーランド政府と連携して生産から消費にいたる衛生対策等も行っています。事務所はキャンベラ(オーストラリア)、ウエリントン(ニュージーランド)にあります。

ASAE

ポルトガル経済食品安全庁

Autoridade de Segurança Alimentar
e Económica



食品の安全性と経済活動の監視を行うポルトガルの行政機関で、2005年に設立されました。経済省の傘下であり、本部と二つの地方事務所があります。

あらゆる経済活動の監視を行っており、食品安全関係では、フードチェーン及び飼料に関するリスク評価とリスクコミュニケーションを担っています。

ANSES

フランス食品環境労働衛生安全庁
Agence nationale de sécurité
sanitaire de l'alimentation, de
l'environnement et du travail



2010年に、フランス食品衛生安全庁(AFSSA)とフランス環境労働衛生安全庁(AFFSSET)が合併したことにより、発足しました。健康・農業・環境・労働・消費者問題省の傘下で、健康、安全問題を担当する各機構をサポートするために、食品、環境及び職場のリスク評価を行う機関です。

BfR

ドイツ連邦リスク評価研究所

Bundesinstitut für Risikobewertung



2002年に、リスク評価機関として設立されました。リスク削減を目的として、消費者の健康保護と食品の安全性に関するリスク評価、科学的助言を行っています。また、情報の透明性を確保する立場からリスクコミュニケーションを行っています。